万引対策最前線発行記念シンポジウム開催

全国万引犯罪防止機構

高齢者万引き増加
大量窃盗対策が課題

全国万引犯罪防止機構（東京都新宿区、竹花豊理事長、TEL03・3355・2322、以下万防機構）は、警察庁と日本小売業協会の協力を得て、「万引対策最前線　闘うリーダーたちのメッセージ集」を発行。メッセージ集は、「小売業と関連業界の対策」、「地元警察と地域の対応」、「万引対策に対する提言」、「万引対策の結節点」の4章で構成。警察、小売店をはじめ、万引き問題と関わっている関係各方面の声を纏めた内容となっている。

今回、メッセージ集の発行にあたり、発行記念シンポジウムが東京・千代田区の主婦会館プラザエフで開催された。シンポジウムは、メッセージ集に寄稿した担当者らが参加して、各々の立場で様々な意見が紹介された。今号では同シンポジウムで紹介された登壇者の取り組みなどを掲載する。

万引犯罪の減少傾向の定着化へ

万防機構・竹花理事長

竹花理事長

シンポジウムの開催に先立ち、竹花理事長が挨拶。「このメッセージ集にお書き頂いた方々も、様々なフィールドの方々です。こうした方々が今まで取り組んできて、色々工夫されたこと、苦労された事柄が書かれています。私どもはこうした取り組みの中から、教訓を得て、今後の万引防止対策を真剣に検討していかなければならないと考えています」。メッセージ集では、昨年米国で開催された集団万引・集団窃盗来然防止国際サミットでの議論に関する内容も反映している点にも触れ、米国の万引きに関わっている小売業界、警察、万引き防止機器を作っている方々とのディスカッションを通じて、「万防機構がこれからどういうことをやっていくのかについてのコンセプトと具体的な方針を示していました